

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】

平成29年度  
全国学力・学習状況調査の  
結果の分析と考察

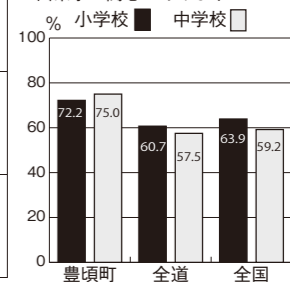
# 豊頃町の児童生徒の 学力や生活習慣は？

本年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）の教科で、全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が8月下旬に示されました。この結果を基に、教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、下記の通り分析結果をまとめました。

## ● 豊頃の子どもの学力等の傾向

小学校	国語、算数ともに正答率が全国平均を下回る結果となりました。個人差はありますが、漢字や計算などの基礎学習で課題が見られましたが、4月以降の指導で定着しつつあります。国語では「書く」領域、算数では「数量関係」の力が向上しています。
中学校	国語、数学ともに正答率が全道・全国平均を上回る結果となりました。国語A（知識）の「読むこと」、数学B（活用）「数と式」は、やや全道・全国平均を下回りましたが、そのほかの領域は全道全国平均を上回り、着実に習得できています。
全体	児童生徒ともに地域や社会への関心が全道・全国平均を大きく上回っています。「読書」をする時間は減少してきており、全道・全国平均を下回っています。読書により読解力が身につく、各教科の理解力にも繋がっていきます。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



### <中学校>

- ・食事や起床・就寝時間など、基本的な生活習慣が着実に定着しつつあります。
- ・テレビ・DVDの視聴が長時間に及ぶ傾向にあります。ゲームをする時間は減少傾向にありますが、スマートフォンなどの通信機器の使用時間は、増加傾向にあります。
- ・家庭学習では、ほとんどの生徒が宿題や復習を中心にしっかり取り組んでいます。また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強に取り組む時間が増えています。

### <具体的な方策>

- ◇これまでと同様、自学ノートを提出させたり、テスト前に学習計画表を作成させたりするなど、家庭学習の定着を目指します。また、各家庭に配付済みの「家庭学習の手引き」を基に、余暇の時間と学習に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するよう、家庭と連携した取組に努めます。
- ◇授業や学級活動、道徳、総合的な学習の時間、部活動などを通して、自分の生き方や将来について考えられるように指導します。また、生徒の自己肯定感を一層高め、自信を持って物事に取り組める生徒を育てます。

## ● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

### <小学校>

#### 【国語】

- ・話し合い活動等の言語活動の場では、自分の考えを説明したり、書いたりする活動を取り入れます。
- ・身近な図書を計画的に活用する読書活動を取り入れ、目的や意図に応じた効果的な読み方ができるような学習活動を工夫します。

#### 【算数】

- ・計算の意味や計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考え、説明できるような学習を工夫します。
- ・まとめの問題やプリント学習で基礎的・基本的な知識・技能の定着を確認し、必要な補充指導を行います。

### <中学校>

#### 【国語】

- ・文章の推敲において、別の言葉に置き換えたり、新しい言葉を付け加えたりすることで、伝わり方がどのように異なるのかを確認する学習活動を工夫します。
- ・文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもった上で、ペアやグループで交流する学習活動を工夫します。
- ・スピーチをする場面で、聞き手から質問したり、内容や伝え方について助言し合ったりする場を設けることで、表現の仕方や聞き方を学び合う学習活動を工夫します。

#### 【数学】

- ・計算問題は、授業内・家庭学習などで反復練習の量を確保し、繰り返し問題を解くことにより自信を持たせ、苦手意識を少なくし、計算の手順や約束を身につけさせる工夫をします。
- ・応用的な問題に多く取り組ませ、学習している内容の活用方法について理解を深めさせます。
- ・ただ問題を解くだけでなく、その理由や根拠などを説明させたり、確認したりする時間を多く取り入れます。

## 豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

- ◎学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めるとともに、これを基盤とした体験型・課題解決型の学習活動を多く取り入れるなどし、子ども自らが主体的に学び、一人一人に自分の良さを見つけさせるようにしていきます。そのために、わかりやすい授業づくり、宿題の質を高めるなど、子どもたちが集中して学ぶことができるよう教育環境を整えます。「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また家庭とも連携して、学び方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◎家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。「家庭学習の手引き」を参考にしながら、授業の復習を中心に、その日のうちに行うようにしましょう。
- ◎地域では、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、積極的に活動している子どもたちへの温かい励ましや教育活動へのご協力をお願いいたします。

問合せ先

教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801

### <小学校>

#### 国語A（知識）・国語B（活用）

- ・国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の領域や、**伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の定着が図られました。**
- ・「読むこと」の領域の定着が、学習内容の定着に繋がっていきます。
- ・国語Bでは、国語A同様「読むこと」の領域が定着することで、より深く物事をとらえ表現する力も定着すると考えられます。

#### 算数A（知識）・算数B（活用）

- ・「量の測定や図形」の領域の改善が見られました。**基礎的な計算技能が定着すると、更によくなります。**
- ・「数学的な考え方」を活用して、説明したりすることに課題があります。**知識を基に筋道を立てて問題を解くことが、数学的な考え方の定着に繋がります。**

【国語、算数（数学）】の傾向

### <中学校>

#### 国語A（知識）・国語B（活用）

- ・A・Bともに「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語に関する知識・理解・技能」において、全道・全国平均を上回っており、**バランスのとれた高い国語の力が身につけています。**
- ・特にB（活用）では、読むこと「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」において、全道・全国平均正答率を大きく上回り、**基礎事項を活用させて言葉を用い、文章を読み取る力をつけてきています。**

#### 数学A（知識）・数学B（活用）

- ・A・Bともに、全道・全国平均を上回っており、**確実に数学の力が身につけてきています。**
- ・数学を得意としていない生徒も、**粘り強く自分のできる問題にしっかりと取り組んできた成果が見られます。**

## ● 学習習慣や生活習慣の傾向

～児童生徒質問紙調査から～

### <小学校>

- ・生活面では、基本的な生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）に、改善が見られました。
- ・家庭学習の時間は、個々の取り組み方に違いはありますが、学校以外の場所で学習する時間が短い傾向にあります。計画的に学習する習慣を身に付けることが必要です。
- ・テレビ・DVD等の視聴時間が長時間に及んでいます。ゲームの時間は減少傾向にありますが、スマートフォン、タブレットなどでの通話やメール、インターネット視聴時間が増加傾向にあります。
- ・自分を認め、自信を持ち、学級のみならず協力して、何かをやり遂げようとする気持ちを強く持っています。

### <具体的な方策>

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また、家庭とも連携して、学習の仕方や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、家庭生活の中に「家庭学習と読書」を位置づけ、テレビやゲームをする時間と学習に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するようご指導願います。